

高校生・保護者・高校進路指導教員 在校生から見た専門学校価値と課題

～大学・短大との違いをどう見ているか～



2016年6月13日
リクルート進学総研所長
リクルート「カレッジマネジメント」編集長
小林 浩

■専門学校進学者は「就職に有利」「専門分野を深く学べる」「資格取得」「卒業後に活躍できる」を重視

➢学校種を問わず、1位は「学びたい学部・学科・コースがあること」だが、

2位は大学「校風や雰囲気が良い」、短大「資格取得に有利」に対し、専門学校は「就職に有利」「専門分野が深く学べる」

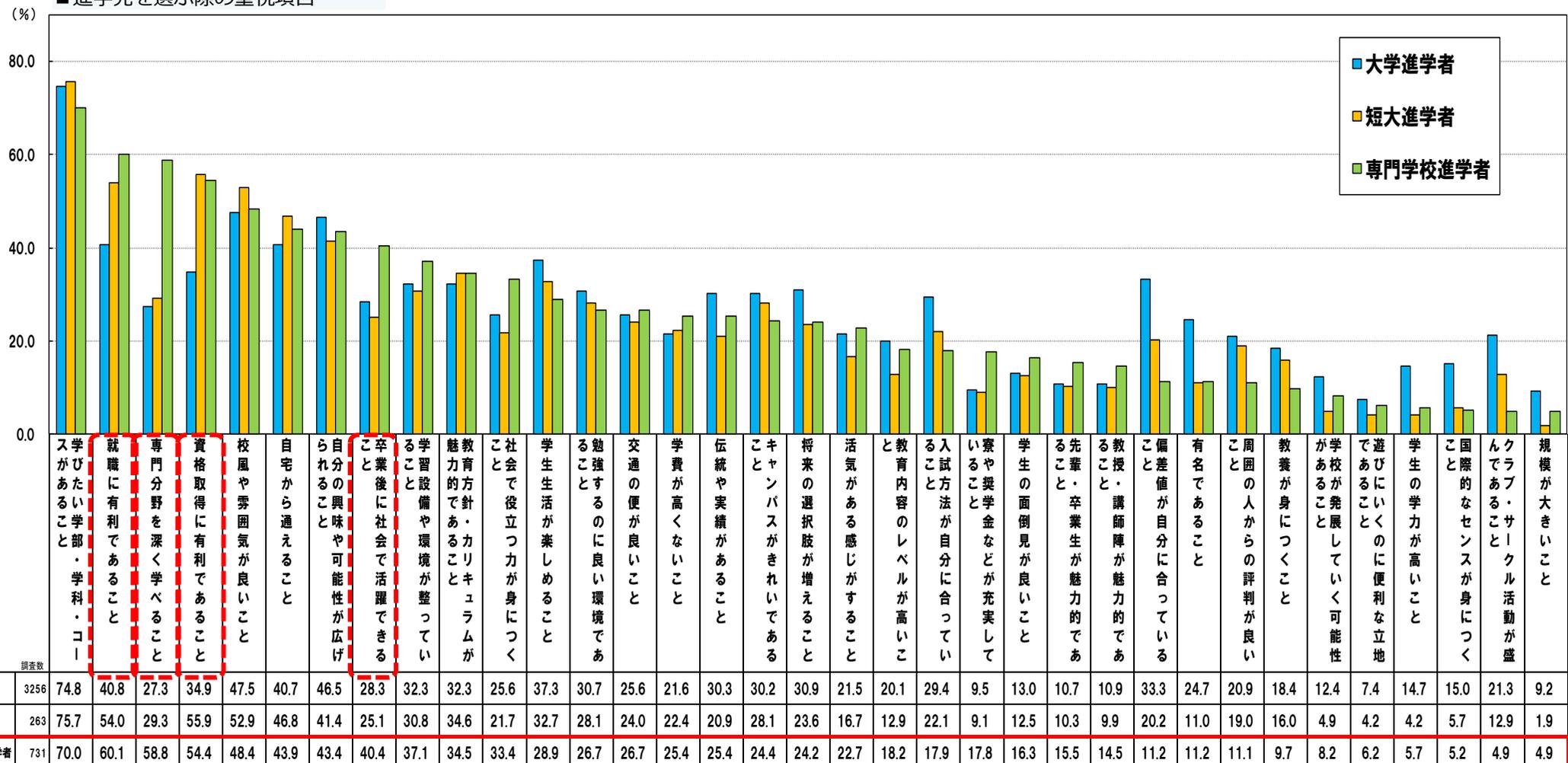
➢専門学校>大学

- ①「専門分野を深く学べる」(+31.5pt) ②「資格取得に有利」(+19.5pt) ③「就職に有利」(+19.3pt)

➢専門学校>短大

- ①「専門分野を深く学べる」(+29.5pt) ②「卒業後に社会で活躍できる」(+15.3pt) ③「社会で役立つ力が身に付く」(+11.7pt)

■進学先を選ぶ際の重視項目



保護者 高校生の保護者が進路選択時に重要と思う情報は何か

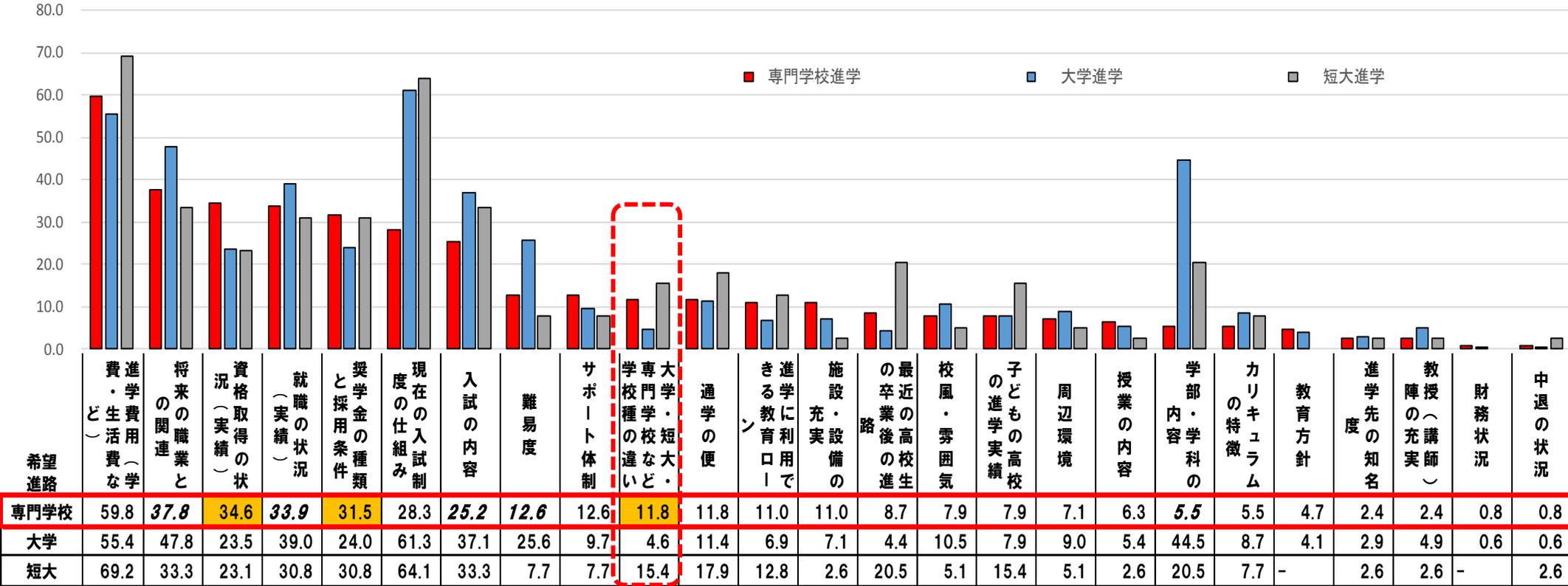
保護者は、いくらかかって、どうなれるのかを重視

■高校生の保護者が重要と思う情報の上位は

- 専門学校 ①「進学費用」 ②「将来の職業との関連」 ③「資格取得状況」
- 大学 ①「入試制度」 ②「進学費用」 ③「将来の職業との関連」
- 短大 ①「進学費用」 ②「入試制度」 ③「将来の職業との関連」、「入試の内容」

→大学に比べ、短大、専門学校進学希望者の保護者は「学校種の違い」の情報が重要との回答も多い

保護者の特に重要な進学情報(進学希望者/上位3つまで回答)

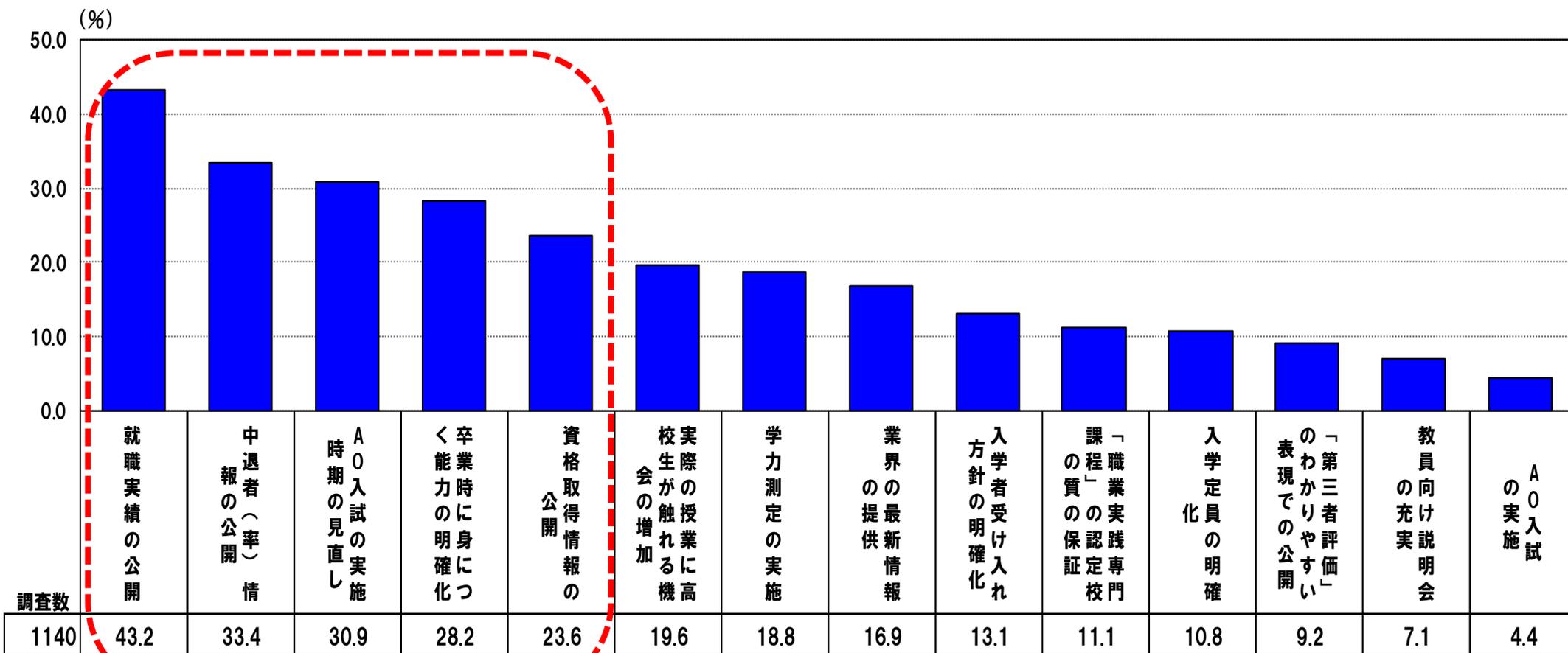


※「専門学校進学希望者」降順ソート 100.0 「大学進学者」より 5ポイント以上高い

100.0 「大学進学者」より 5ポイント以上低い

■「就職実績の公開」「中退者(率)の情報公開」「AO入試の実施時期の見直し」
 「卒業時に身につく力の明確化」「資格取得情報の公開」の順(20%以上の項目)
 →要は送り出した生徒がどうなっているのかのフィードバックが重要

高専接続・連携/専門学校・行政に期待すること(全体/複数回答)



大学

「可能性」
+
「キャンパスライフ」

短大

「仕事・職業」
+
「キャンパスライフ」

専門学校

「業種・業界」「手に職」
+
「そこでしか学べない内容」

	大学進学者が感じる 大学進学の特長	短期大学進学者が感じる 短期大学進学の特長	専門学校進学者が感じる 専門学校進学の特長
1位	将来の選択肢が広がる(80.4%)	早く社会に出られる(79.1%)	自分の目指す仕事・職種につける(86.6%)
2位	学生生活が楽しめる(80.3%)	少なくともどこかに就職できる可能性が高くなる(58.9%)	専門分野の勉強に集中出来る(86.2%)
3位	クラブ・サークル活動を楽しめる(79.3%)	自分の目指す仕事・職種につける(58.6%)	特定の業種・業界に就職しやすい(83.3%)
4位	幅広い教養を身に付けられる(77.2%)	やりがいのある仕事ができる(58.2%)	手に職をつけられる(82.2%)
5位	有名企業や大手企業に就職できる可能性が高くなる(77.1%)	自分のやりたい専門分野の勉強に集中できる(57.4%)	そこでしか学べない内容がある(79.1%)
6位	少なくともどこかに就職できる可能性が高くなる(75.5%)	学生生活が楽しめる(56.3%)	社会に出てから、現場で即戦力になれる(77.3%)

大学

「図書館・IT環境の充実」
+
「先生・友人などとの出会い」

短大

「資格取得・実践的な授業」
+
「就職サポート」

専門学校

「資格取得・
実践的な授業・実習」
+
「先生との距離の近さ」

	大学卒業生	短期大学卒業生	専門学校卒業生
1位	専門的な知識が身につく授業が多い(62.0%)	目指す資格が取得できる(69.9%)	専門的な知識が身につく授業が多い(73.5%)
2位	図書館が充実している(59.2%)	専門的な知識が身につく授業が多い(65.1%)	目指す資格が取得できる(70.1%)
3位	幅広い知識・教養が身につけられる授業が多い(57.0%)	幅広い知識・教養が身につけられる授業が多い(62.7%)	将来の職業に役立つ知識・技術を身につけられる授業が多い(68.7%)
4位	パソコン・インターネット等の情報設備が充実している(56.9%)	将来の職業に役立つ知識・技術を身につけられる授業が多い(60.2%)	先生と生徒の距離が近い(67.0%)
5位	優れた先生に出会える(56.0%)	就職活動に対するサポート制度が充実している(53.0%)	幅広い知識・教養が身につけられる授業が多い(64.4%)
6位	たくさんの先輩・後輩・友人と出会う(51.6%)	パソコン・インターネット等の情報設備が充実している、図書館が充実している、教育方針や校風に魅力がある(51.8%)	実習が充実している(59.8%)

■短期大学・専門学校卒業者は、「専門分野の知識・技術の理解・習得」にとどまらず、実際にそれらを「活かせる力」を取得できたと感じている。

→専門学校卒業者は「専門分野の知識・技術の習得・理解」「実際に活かす力」両方が最も高い

	大学卒業者	短期大学卒業者	専門学校卒業者
1位	専門分野の知識・技術を理解・習得する力(41.0%)	専門分野の知識・技術を理解・習得する力(34.9%)	専門分野の知識・技術を理解・習得する力(58.2%)
2位	物事をさまざまな視点から考える力(38.0%)	専門分野の知識・技術を実際に活かせる力(30.1%)	専門分野の知識・技術を実際に活かせる力(44.2%)
3位	物事を論理的に考える力(38.0%)	物事に進んで取り組む力(27.7%)	物事をさまざまな視点から考える力(26.8%)
4位	物事に進んで取り組む力(28.9%)	自分の意見をわかりやすく伝える力(22.9%)	物事に進んで取り組む力(26.8%)
5位	エクセルやパワーポイントなどのツールを使いこなす力(25.1%)	物事をさまざまな視点から考える力(21.7%)	自分の意見をわかりやすく伝える力(26.0%)

<価値>

- 教養教育といった幅広い学びではなく、自分の好きな専門分野に特化した学びができる
- 仕事と直結した専門知識や技術の修得、あるいは資格取得が可能、さらに得た知識技術を実際に活かせる力が身に付けられる
- 他の学校種と比較して、業界との連携が強く、その業界で役立つスキルが身に付けられる
- 大学と比べて安価で、短期間で社会にでることができる
- 先生との距離が近く、その学校でしか学べない教育やサポートがあることが魅力となっている

<課題>

- 高校進路指導主事からは、就職実績、卒業時に身につく能力の明確化や中退情報など、進学後の学修成果(何が身について、どうなれるのか)への情報提供ニーズが高い
- ルールが明確でないなか、AO入試などの早期出願への不安も存在する
- 保護者からは、授業料や奨学金などの経済的な情報、学校種による違いの明確化も求められている。